磐城新聞（十九日夕刊）

定價一ケ月五十錢 壹枚二錢 郵税十錢
發行所 磐城新聞社

女學生の暑中休暇

特に行つて貰ひたい事

それは敢へて女學生ばかりでなく一般の學生がさうであるが、暑中休暇といふものは學生々活中一番長い休みであつて、平素の時間的な生活から解放されてかなり自由の境地に身をおく事が出來るものであります。それだけにこの暑中休暇中の生活如何が學生をして非常にいゝ結果をもたらすものであり、又反對に非常に惡い結果をも生むものでもつてこれまでの例に見ても暑中休暇中の生活から不良になつたといふ事がよくある事でありますから、この休暇中の生活は周圍の監督者もさうであるが本人自らが生活を常と同じく緊張を失はぬ様努めてゆくのが大事であります、殊に女學生時代となると、小學時代とちがつて一々大人の指導や教へをうけなくも、ある程度までは自ら物事を律してゆく事が出來るのでありますからこの點を充分考へて自ら誤らぬ方向へ、過失のない生活へ啓發せしめてゆかねばなりません、わけて避暑等を行ふ家庭の娘たちは海にしろ山にしろ、その環境上多くの未知の人々に接する機會も多く、從つて不圖した機みから、豫想もしなかつた戀愛問題などにもぶつかるものであるもので、さうした結果がとりかへしのつかない大きな過失を招く様な事もよくある譯でありますから殊に若い娘たちはこの點に充分注意し、自らを傷つけない様にしなければなりません。そこで暑中休暇中の心得とも云ふべきものを私の學校の生徒ばかりでなく一般の女學生たちに申上げておきたいと思ひます

一、休暇中と雖も日々午前中二時間位は必ず正座して復習讀書等學校の課業を勉強する事

二、朝寢若くは惰眠を貪るの惡習を生ぜさる様注意する事

三、早起き及び冷水摩擦の良習を養ふべき事

四、努めて炊事掃除洗濯等家事の手傳ひをなし實際につきてよく機敏に立ち働く習慣をつけ且運動を怠らぬやう心掛くる事

五、父兄姉等相當の監督者なき場合は決して芝居、活動寫眞其他演藝場等公衆の集合する場所に出入せざる事

六、避暑若くは旅行等をなす場合は自己の品位を墜さゞる様注意すべき事

七、暑中休暇中與へられたる課題は必ず約束通り履行すべき事

八、九月の第二學期始業式には必ず列席する事

九、休暇中毎日日記を記す事、毎夜就寢前に忠實に記しおく事その記すべき事は就寢起床の時間、正午の温度、見聞せる社會上の出來事、氣象に關して特記すべき事、新聞によりてその日その日の白米野菜魚肉等の相場其の他感想、時評、趣味的なものを入れる事、その日〳〵の言行に對する反省事項等

暦の吉凶

七月六日 新暦 舊暦 十二

▲一白 地の利は無けれど人の和はあり進んでよし ▲二黒 内に屈する所あれども外には大に伸びる日 ▲三碧 早呑み込みはすべからず意外の失敗を招くべし ▲四緑 苦は身を磨くの砥石と思ふて辛抱すべき日 ▲五黄 身を低ふして根限り働くべし ▲六白 大吉となる日、口舌を開くときは大吉となる ▲七赤 内が安全、外に出でゝ人の口舌を聞くよりも能く整理する時は外は自ら順調 ▲八白 運氣順調にて吉に向つて開く ▲九紫 名弘めいづれも運氣溌溂あせればあせる程蹟きあり萬般注意

小説　死を超ゆる者（41）

三上於菟吉作　布施平八郎畫

惡魔の贈物（三）

「どうしてそんな顏をしてゐるの？」

と勇は彼女の前に立つたまゝで言つた

僕は昨晩會ひたかつたのを給へ、僕が淺間しいとは

勇はハッとして滿身その血が凍つてしまつた。

ハ……あのことがたつた一日の中にもうこの娘の耳にまで傳つてしまつたのか！彼は体が底の知れない淵のなかへ落ち込んでしまつたやうに感じた

「あなたは……それは私どんなに有難いか知れないけれど……その金は……どうしても受けることは出來ません」

と、とき子はしどろもどろな調子で言つた

「ほんとうに淺間しいことを……どうしてあなたはそんな怖ろしいことを……」

勇は口中が妙に固くなるのを感じながら呟くやうに

「ひどい事を？」

勇はだん〳〵わけが解らなく苦しくなつて獨り言のやうに叫んだ

「おやぢは百萬分限だ、この人からたつた六千圓盜むことが……」

「あなたは私にさへおかくしになさるんですね」

とき子はヒステリックに凄い程靜かな微笑を浮べて言つた

「私はあなたを私を救つて下る天使だと思つてゐました。ところがもうこの世に二人とない程の惡魔だつた

のです、親御さんの血の注つた金で私が救はれるとに思ひだつたのですか、惡魔――いゝえあなたはひどいことを――あなたはどうしてな怖ろしいことをどうしてなすつたのです……」

「君の清い心がそう思ふのも無理もない」

と勇は靜かに苦しそうな

だ、けれどもどうしても金が間に合はなかつたものだから、いろ〳〵苦心をしてやつとこれだけ……」

彼は懷中に手を入れて白いハンケチ包を取出した

そして彼女に渡そうとしたところが案外なことにはとき子はそれを受取らうともしなかつた。彼女はブル〳〵と身を震はせて顏に兩手を當てた彼女は顏をかくしたまゝ低く鋭く叫んだのであつた、

「若樣、あなたは何ていふ淺間しい……」

「淺間しい！僕が？」

「そうですとも、淺間しいお方ですわ……」

「……もう一度言つて下さい」

言つた

「成程、僕は不正な手段で父の金庫から許しのない金をとつて來た。しかし、僕は他にも事情があつてもうあの家にはゐられないのだ、だからこの位の金を持ち出してもそう父や母を苦しめはしないのだよ」

「お父樣、お母樣をお苦しめにならないつて？」

と、とき子は淚の眼に不思議な憤をみなぎらして小さく叫んだ

「お父さまをお苦しめにならないつて？あんなひどいことをなさりながら……あんなひどいことをなさりながら……」

顏付をして供ぐ……

「しかし僕は……救げたさに……」

吉田眼科醫院

芳醇無比
白馬の雪
松本徳一吟釀
電話（平）七五二

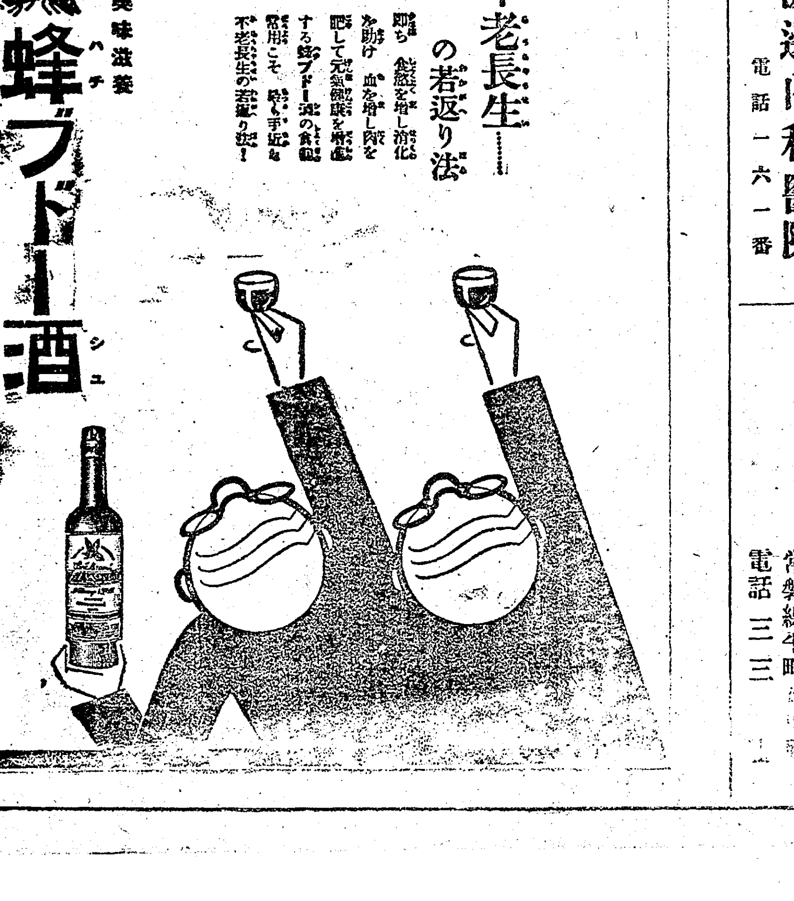
◎夏衣陳列
粹な中形
着尺モスリン
名仙 單帶
其の他色々
どうぞ御來店を
三丁目 龜田屋
電話[illegible]

◎診療開始
耳鼻咽喉科專門
日本醫大醫學士院長 鈴木正男
齒科口腔外科
日本齒科醫學士科長 高橋正永
◎晝夜診療
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前六間通り
鈴木醫院

三伏の炎暑一蹴涼風拂袂超々特別大興行（拾九日寫眞替り）
▲松竹下加茂特作時代映畫 主演阪東壽之助
山岳悲譚 峠の狼火 全
加賀山中ノ溫泉宿を中心として薄命の姉弟が仇討の旅と病む悲慘なる人の世の一切を語る
◎御期待の名篇◎キング誌連載中
全日本に大音響を立てたオールスターキャスト
名篇 東京行進曲 全
富と貧、文化、學問、教養、藝術、罪惡、墮落、東洋第一の近代都市の中へ……其の眞理に向てメスを向けて赤裸々突進し行くのが本篇である
葛木香一、尾上華丈、櫻井京子
任侠旅日記 大前田道中記 全
これは正しきを正しとし、正しからざるを正しからざるとした侠骨の涙笑留なき旅日記の一節ではあります
東京行進曲 獨唱 明石眞砂孃 特別來演
御入場料 特等 大六〇 小三〇 壹等 五〇 二〇 普通 四〇 一〇
平館 電話四六六

ラケット……特賣！
最新流行…細形…多數入荷
選手最的品……金參圓ヨリ
◎庭球用神戸丸善製…運動服裝各種
◎本年流行の…セラーシャツ…六〇ヨリ
◎國際形競水着……六〇ヨリ
◎水褌 ゴム入二重製……一五 二重製……一二
夏の運動服裝特賣！
各學校各社御用達
大塚支店運動具部
平田町 電話七〇二番

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾、皮膚病 市原三三男
平町田町本通
市原醫院
（入院隨時）電話一一四番



御手輕御料理
凉しい部屋と美味と廉價が自慢
平町新田町 喜樂

レコードハ此のマーク！を
肉聲のビクターレコード販賣店
會田時計店
平町四丁目（電話三六三番）
店員募集

内科診療
消化器病科 呼吸器病科
小兒内科 一般内科
入院應需（自炊ノ便アリ）
平町鼠坂
渡邊内科醫院
電話一六一番

營業種目
内地材 材木各種、羽柄材々種
建築諸材
礦山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材請負
其[illegible]
佐藤材木店
常磐線平町[illegible]
電話三三

内科、小兒科（院長毎日來診）
院長 醫學博士 難波睦
副院長 醫學士 五十嵐雄次
内科部長 醫學士 中西林藏
外科一般
外部長科 醫學士 氏家憲介
毎日曜手術 醫學博士 桂重次
産婦人科、女子泌尿科
産婦人科部長醫學士 五十嵐雄二
顧問 醫學博士 川添正道
×光線科
主任 醫學博士 難波睦
本院嘱託法律顧問 法學士 岡蕃
本院主事 賀澤忠治
御大典記念事業トシテ
一 衛生試驗所（共濟病院内）
一 病氣相談所（共濟病院内）
一 救療所（共濟病院内）
㊞看護婦見習募集
磐城 共濟病院 平町電話六[illegible]

商港工事の繼續に縣費支出も不可
どこまで祟る現内閣
小名濱港絕望か

小名濱商港修築工事の中止は正式決定を見ないが政府の方針動かすべからず大勢全く絕望に歸したので縣は既報の如くこれが對策を協議した結果國庫補助を除く縣負擔並に淺野及び地元からの寄附金範圍内で工事施行をなしたいと金森内務部長田内土木課長をして内務省に陳情せしめたが十七日夜兩氏歸縣の結果は

縣費の支出も斷じて許可されない模樣と判明したので下小柳知事はこの報告に基き他途工事施行を熱望する地元民の爲せめて淺野寄附、地元寄附中から本年度分は五萬圓乃至十萬圓支出を特に認め工事を行はしめて呉れと内務省に迫ることに決定したこれに就て小柳知事は語る

内務部長等の陳情結果によつて中央の方針は國府縣費共斷然許可されぬことが判つたからこの上は地元民の希望もありいくらでもよいから支出を認めて貰ひ工事を行つてくれるやう内務省に陳情し是非共實現を期したいと思つてゐる、これは同港の運命に殘された最後案である、上京の日取は未定しないが二十一日の豫定である

賊横行
平町の夜を　平署特別警戒

平町白銀町佐藤勝藏方へ十八日午前二時頃忍び入り腕時計一ケを窃取し更に隣家高田萬吉方より現金在中の蟇口を盜んで逃走した犯人あり平署では目下犯人嚴探中であるが數日來の酷暑から兔角取締も緩むのにつけ込んでコソ泥、空巣狙ひ等が頗る増加して來たので平署では連日特別警戒をなしてゐる

非常に好成績な郡下の夏秋蠶
萬遺憾なからしむべく養蠶同業で講習

本郡内に於ける夏蠶狀況は技手外久ノ濱蠶業取締試驗二坂、川前の一部を殘して掃立を終り目下二眠中であるが一般の初秋蠶は來月三日頃から掃立を開始するらしく石城養蠶同業組合では技手が總出で本田、永山技手が總掛りで是非この前に春繭の收の取り返しをなさんと大々的に夏秋蠶不作防止講習會を開催する事になつたその要項は

一、飼育は標準温度を保持し大体七十度から八十度内外に雨戸や障子は可成締めて置く事

一、飼育時期が短いので摘桑を良選定し蠶期には薄飼として桑を多量給與する事

一、蠶種の選定と保護は特に指定の品種を用ゆる事

等で大いにその實を擧げるに努力してゐるが本年の蠶の發育狀態は天候の順調と害虫も發生せず本年は大當りで講師は同所で日割左の如し

△二十一日大野村△二十二日山田村、錦、田人村△二十三、入遠野、川部、豐間△二十四日江名、△二十五日鹿島崎、永戸△二十六日神谷△二十六日赤井

袂を切らる
盤野盂蘭盆祭で

石城郡神谷村字盤野の盂蘭盆祭典は十八日行はれたが平町外近在から參詣人に賑ひ夥しい雜踏を呈したが平町新川町叶田金次（三〇）は袂より金五圓入りの蟇口を窃取された外飯野村北白土鈴木萬吉（一九）同佐藤四郎（二一）の兩名も鋭利な鉄樣の物で袂を切り落され蟇口をスラれた

平署今年の火事
一村落が全滅
損害高も十五萬圓に達し一日平均八百圓

平警察署管内平町外三町十八ケ村の一月から六月末日まで即ち上半期に於ける火災發生數は十一件であつたがこの内去る二月中鹿島村の火災を初め頻々として起つた火災を月別に見ると火災シーズンの一月から二月四日まで一番多く一月四、二月二、三月一、四月四、五月は全く無く六月に至り再び三件あつた、全燒戸數八十軒、半燒三軒で之を細別すれば立派な一村落が出來る譯であるこの見積り損害は合計十四萬七千七百三十八圓と云ふ巨額に達し一日平均八百三十圓が煙りになつた譯で前年同期に比べると一萬四千五百九十四圓の増加でこの恐しい火災の原因は煙突の掃除、殘火、籠から等の失火が大部分、放火は僅に一件、汽車の飛火が一件で莫大に上る火災損害に平署では絕えず注意をなしてゐる

水泳初心の心得（上）
溺れた時の手當其他

◇冬のスキーと夏の水泳、これは最も理想的な運動の双璧であらう健康上からいつても、亦興趣の點から見ても、詮じつめて見ると恐らくこの二つに越す運動はないと思ふ。正に三伏の酷暑、茲に水泳について傍系的な注意を述べてみよう

◇「よく游ぐものは水に溺る」とは昔からよくいはれてゐることで、これによくといふのは上手、達者にといふ意味でないのは勿論である。達者な游ぐものが溺れるのではトンと辻褄が合はない。これはつまりナマジッカ游ぎの出來るもの——といふ意味と解釋すべきで全然游げないものなら、水を恐れて水に近づかないから、問題も心配もないのであるが、生半游げると思つてゐるものでは、淺いものにはうかり水に這入つて取返しのつかない事になる事が多い「川越三年」といふのも一般の消息を傳へた言葉で自分は川越をしたのだからといつて、自分の技術を過信して油斷をするとんだ事になる◇「川越」といふと自分の腕を自信して技術はそのあべこべにまだなつかしい處なのだ。水は生き物なのである。水に入つた時には之れ生き物と取組んで正に生死の關にあるともいへる、だから水に勝てば縱横自由、泳ぐことが出來、一旦負けたが最後自分の命は取られるのだ。愛すべきものも水、恐るべきものも亦水である。水は正宗の名刀でも斬らずんば水で斬られる

俳優と人妻
手を取つて逃走

石城郡内郷村大字宮字条坪一丞才次郎の妻小川キヨ（三三）は去月二十二日當地へ興業中の俳優某と誘はれ家出したが最近石城郡小名濱町のカフエーに居る事が判つたので十八日才次郎は若松署に捜索方を願出た

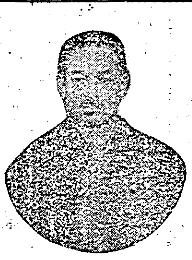
浴場の黑鼠
小名濱で捕はる

石城郡小名濱町字寺の脇鍋泉浴場浴客茨城縣多賀郡川町生れ今井作治（二四）は十四日午後五時頃同字相馬郡村大字原谷齋藤粋太郎方の入浴中同人所有の金側腕時計一個代價十八圓を窃取し知らぬ半兵衛を極め込んでゐるを同町長谷場巡査に發見された

土用入
暑さは之から愈々あすは

石城地方は炎天、酷しよ、旋風器の影にかくれてさへ汗がにじみ出る此頃のあつさ加減つたらまるで生物を殺すにはおかない程である此のあつさに愈々明日から土用入りといふことになつてはこれただけでもぞつとせざるを得ない位である昔からのいひ傳へに土用六日目から秋風が吹く等とは地球の廻つた今日ではウツケ者のたわ言としか受とれない、恨んでも仕方がない小名濱測候所の話に依れば目下高氣壓が小笠原島の東七百六十二ミリ臺灣の東に颱風が七百四十ミリだけ北西に進行しつゝある關係上日本には來らず支那に入つて行くから酷しよは今二三日は大丈夫續くといふ有難からざる話しであるそれでも時々極部的な驟雨がやつてくるとか位の慰めであるから四五日は涼味にも接しられないわけである

理想の農村建設
耕地整理の大業を完成した
四家又一氏



爲政家は口を開けば必らず農村振興と農民救濟を唱へ堂々の金看板を掲げ乍ら今だ一個の實際的施設と効果を見る事が出來得ないのは誠意の有無よりも寧ろ之れを實行し得る能力に乏しいものと觀る事が妥當である、故に農村の振興は吾々農村民の自力によつて開拓するの外學者や政治家の空理空論をたのむ事は絕對に不可能である

石城郡内郷村四家又一氏の農村振興論は上述の所論を前提として滔々盡きる所がない、氏は酒造を業とし實際農業の經營、利害に直接の關係は稀薄であるが我が國是の大本たる理想の農村を建設する爲めに幾多の犠牲を快とし着々理想の農村郷實現に努めてゐる

即ち昨年秋御大典記念事業として同村高坂部落百餘町歩の耕地整理を企劃し自ら組合長となつて主宰し幾多の苦心努力を拂ひ遂ひに完成した如き氏の貢獻と努力を認めねばならぬ

其の他勞資の協調、地主と小作關係、圓滑等社會各般の施設經營に向つて最善努力を惜まず地方民の信望期せずして集まるもの決して偶然でない

磐中卒業後大藏省に職を奉じ後一年志願兵として入營し歩兵少尉に昇進除隊後在郷軍人分會長、村會議員其の他の榮職に在つて村治に貢獻偉大なるものあり政治に新鮮卓越の識見を有し行く行くは縣政壇上に送られる日も遠くはあるまい

抱主の無情を恨み 平署に保護願ひ
親の梅毒の犠牲に娘も酌婦稼業

平署人事相談所に去る十七日午前八時ころ一人の年增女が飛び込み「どうか助けて下さい」と泣いて訴へ出たので平署員が事情を聞くとこの女は仙臺市北三番丁生れ飯淵キヨ（三七）といひ數年前に前借三百五十圓で石城郡好間村大字下好間飲食店相馬屋事馬場西松方の酌婦となつたが猛烈な梅毒に罹り折角半減した前借がまた〳〵增したので泣く〳〵娘ヨシイ（一五）を同家に前借百圓で賣り前借の肩代ひをなしたが、さうする主人は無情にも娘を更に鞍替へさせて本借爲め出は幾多の苦惱を要する小名濱へ送らうとするので平署に願ひ出たもので糾明の上西松を平署に呼び出し嚴重說諭を加へて引取らした

石城民政黨
我黨天下の祝賀會

民政黨石城部會の總會は十八日午前十一時から平町民政クラブにて若松縣議の開辭により次いで秋泉幹事長から會務報告あり協議に入り座長に縣議若松美三氏を推し現內閣の施政方針に對し石城民政黨部會の態度を決議し役員選擧を行ひ同日午後一時からは平町聚樂館にて我黨天下の祝賀會を開いたが出席三百名であつた

朝日機
平町上空に　あすの懸賞

東京朝日新聞社の東日本九都市訪問連絡通信競技飛行の飛行機は明二十日午前九時仙臺市發十時二十分平町上空に於て最低空の旋回飛行を行ひ空から見た平町の印象記を漫畫と寫眞機により通信筒によつて投下する筈だがこれを拾つて平町役場の受付に屆ければ早いもの一等（腕卷時計）より三等まで賞品贈呈する

訴へらる
森本氏が請求　民政黨幹事長

石城郡平町田町森本益一氏は民政黨本縣支部幹事長釘本勝雄氏を相手取り十八日東形三百圓の請求訴訟を福島區裁判所に提起した

二名溺死
本年初の犠牲

石城郡小名濱町字定西五八番地楠米菜安三郎長男柳吉一（七）は十五日午後六時頃定西地内先水門下で溺死したが同郡江名町字神向字東小濱一五四農善四郎長女鈴木しま子（一二）は十七日午後一時半頃同東大濱地内堤に於て水泳中溺死した

常磐各炭礦で粉末炭の整理
先づ大倉鑛業が國立燃研と協約

常磐地方に鑛區を有する炭礦各社は同地方產出の石炭は需要先も限られてゐる關係から不況に際してはとかく窮境に陷り勝ちなので各礦は何とかして消化しようと努力し石炭液化と先頃來研究中であるが大倉鑛業會社は最近船舶及びボイラー用として粉末石炭を盛んに推奬されてゐるに鑑み今回粗惡炭消化の一策として石炭粉末化を企し平町の國立燃料研究所に依頼したが石粉末炭は發火爆發性あるのでこれが燃燒に際しては精巧なる機關を要する關係上機關は故障しがちであり又常磐炭は溶解點ひくく流動性殘かすを殘しやすい容積が一効力をあげるばかりか燃燒完全にして常に一溫度を維持する點に於てはるかに生炭にくらべて價値が多いから早晩こゝに粉末販賣を具體化するとのことである

富士登山の壯途
平から四十名の應援で　花澤選手勇躍

平町白銀町花澤源一氏が竹の花澤選手は安藤千爵の紹介にて日本赤十字社に講演をなしたが登山決行後東京にて既報の如く愈々來る二十三日午前九時一分平發仙臺からラジオを放送する事となり一泊廿四日午後三時頃頂上に達する筈であるほか安藤千爵と共に閑院宮載仁親王殿下に拜謁、榮を得ることゝなり此の壯擧を旺ならしむべく德川侯、安藤信昭子外著名の士三百餘名の應援あり勇躍してゐると

商港運動へ寄附
小名町民の感激　加納九郎氏が九十圓

小名濱商港中止反對運動の諸費に寄附を申出づるもの日に次ぎ多くなつて來たが十九日小名濱町製氷社長加納九郎氏は小名濱町は財政的非常時を迎へ幾多の苦惱を要する爲めに是非此の問題の達成を望む意味に於て運動費の五十圓の寄附を申出でたが平當局は町民に代つて感激してゐる

織物業の違反

石城郡好井村大字新田目織物業鈴木きち（三五）は昨年九月から去る一月までの間に染物組を織りひそかに脫稅を計つてゐたことを發覺この程小名稅務署から告發された

入山臨海設備

湯本町入山炭礦は今夏從業員一般に小名濱海水浴場のバラツクを借入れ宿泊海水浴場を開放する

急◎告◎

一、米松大角材破格提供
一、長四十尺迄デ原木の儘販賣
一、販賣代金尺〆壹本ニ付（金拾參圓五十錢割）
一、拾參尺切尺〆計算

右御買入御希望ノ御方ハ多少ニ不拘當店へ御用命御願度此段謹告仕候也

昭和四年七月二十日
平町字搔捏小路
白川屋材木店
電話七一五番

轉居

今般左記に住宅を新築し七月二十日移轉いたしました、右お知らせ致します

平町大町二十三番地
若松病院西隣り
國民新聞平支局
半谷政喜

新築落成

耳、鼻、咽喉科（專門）
氣管食道科
平町南町（前診療所向電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
自炊の便あり

貸地廣告

平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり成けば社員が御伺ひして詳しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社
平出張所
電話六〇三番　五四一番

開業披露

齒科
口腔外科
齒科一般
平町古鍛冶町八八（平公園北入口）
神谷齒科醫院
日本齒科醫學士　神谷辰夫